

2017年度 聖路加国際大学 研究倫理審査委員会 議事録要旨

日時：2017年7月18日(火)18:00～20:35

場所：聖路加国際大学 1階 大会議室

議長：片岡弥恵子(委員長)

出席委員：片岡弥恵子、鶴若麻理、縄秀志、高橋奈津子、小野若菜子、小林京子、宮坂勝之、
松井陽、小松康宏、中村めぐみ、墨岡亮、鐘ヶ江眞知恵、神里彩子

欠席委員：なし

(出席者 13人をもって、委員会の成立)

1. 審議事項:新規申請(本審査)、司会:委員長 片岡弥恵子

① 畠山 有希(看護教育学 修士)

「新人看護師の臨床判断能力を育成するための概念を基盤とした学習 Concept-Based Learning
を用いた教育的支援

研究責任者(畠山 有希氏)より、研究の概要等について説明が行われた。
質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

② 池田 真弓(ウィメンズヘルス 博士後期)

「経産分娩後に助産師が内診により行う骨盤底筋訓練の Feasibility Study」

研究責任者(池田 真弓氏)より、研究の概要等について説明が行われた。
質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

③ 長松 康子(国際看護学 准教授)

「定住型中高年在日外国人女性向けヘルスプロモーションプログラムの評価」

研究責任者(長松 康子准教授)より、研究の概要等について説明が行われた。
質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

④ 江川 優子(公衆衛生看護学 博士後期)

「重篤な状態あるいは死亡となった児童虐待事例を担当した市区町村保健師の体験-保健師であり続けることを支えたもの-」

研究責任者(江川 優子氏)より、研究の概要等について説明が行われた。
質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

2. 報告事項:新規申請の承認

迅速審査及び書類審査該当の新規申請研究について、下記の通り報告された。

整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者
17-A019	多世代交流型デイプログラム参加者に関する混合研究方法を用いた心身社会的変化の長期的評価	老年看護学	教授	亀井 智子
17-A020	入退院を繰り返す精神障害者が地域の定住場所へ抱く思い	修士	精神看護学	高妻 美樹
17-A021	経鼻胃管留置中の高齢脳血管疾患入院患者における絶食状況と絶食に伴う苦痛の関連性の検討	修士	老年看護学	河田 萌生
17-A022	胸部ステントグラフト内挿術を受ける高齢患者の周術期フレイルに対する看護介入プログラムの試行と評価	修士	急性期看護学	高梨奈保子
17-A027	Evaluation of Behavior Change of Midwives in Six Weeks After Introducing Early Essential Newborn Care at an Urban Tanzanian Healthcare Facility	修士	助産学	福富 理佳
17-A028	循環器内科病棟に勤務する看護師による末期心不全患者に対する緩和ケアへの影響要因の検討	修士	急性期看護学	福間 佳代
17-A029	集中治療室に入室した慢性心不全患者に対する看護師の意思決定支援の現状	修士	急性期看護学	瀧 洋子
17-A030	キャリア・ミストから方向性を見出した中堅看護師の経験	修士	看護管理学	上野 亜由実
17-A032	心臓血管外科術前看護外来で急性・重症患者看護専門看護師が行うリスクコントロールの為のセルフケア獲得の患者支援	修士	急性期看護学	山本 茉利
17-A033	Burns による人工呼吸器離脱アセスメントプログラム (BWAP:Burns Wean Assessment Program) を学習する e-learning 教材の作成と学習効果の検討	修士	急性期看護学	木村 理加
17-A034	分娩期における実地指導者が新人助産師の気づきと解釈を促進させる教育	修士	助産学	山本 真実
17-A035	看護大学における養護教諭養成教育を通して得た学び	助教	公衆衛生看護学	三森 寧子
17-A036	看護小規模多機能型居宅介護事業所において提供される看護実践の構成要素	修士	看護管理学	角田 侑子
17-A037	企業における 60 歳以上の就労男性の働くことの意味と健康に関する意識との関連	修士	公衆衛生看護学	原田 若奈
17-A038	中堅助産師のワーク・ライフ・バランスの実現と職業キャリア成熟の関連性	修士	助産学	岡部 紗希子
17-A039	精神科重症患者早期集中支援管理料算定におけるニーズ調査	教授	精神看護学	高妻 美樹

3. 報告事項:既承認研究の軽微な変更、実施状況報告

既に承認されている研究の審査について、下記の通り報告された。

審議事項	整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者
変更申請	14-086	精神障害者の地域生活支援在り方とシステム構築に関する研究「精神科重症患者早期集中支援管理料」に関するインタビュー調査	精神看護学	教授	萱間 真美

変更申請	15-A034	精神障害者の地域生活支援の在り方とシステム構築に関する研究「精神科重症患者早期集中支援管理料」に関する実態調査	精神看護学	教授	萱間 真美
変更申請	16-A083	妊産褥婦の自殺にかかる状況及び社会的背景の調査	国際看護学	教授	大田えりか

4. その他審議・連絡

- ① 委員長より、今月の審議・報告課題に関し利益相反の申告がない旨、委員へ確認があった。申告のある委員はいなかった。
- ② 事務局より、臨床研究の質の担保に必要な倫理教育 -臨床研究法案成立- についての説明があった。

5. 次回委員会開催連絡

次回の研究倫理審査委員会日時:2017年8月8日 18:00～ (1階 大会議室)にて開催。